

## 校訓・校章・校歌・制服の方向性について

## 1 校訓等の方向性について

## 論 点

校訓等の方向性として、「新たな校訓等を制定する」、「統合対象校の既存の校訓等を引き継ぐ」、「校訓等を制定しない」のどれが望ましいかという視点で協議する。

## 【4校の校訓等の状況】

## (1) 校訓

学校名	校 訓	意 味
金木高校	誠 実	自分に正直で相手には誠意を持って行動すること。
	進 取	何事にも積極的に取り組むこと。
	建 設	目標を高くもち、自らを鍛え上げて、物事を成し遂げていくこと。
板柳高校	誠 実	偽りがなく、まじめなこと。真心が感じられるさま。
	勤 勉	一生懸命に精を出して励むこと。
	礼 儀	社会の秩序を保ち、他人との交際を全うするために、人としてふみ行う作法。
鶴田高校	誠 実	真面目で偽りがなくないこと。
	自 律	規範に従って自分の行いを規制すること。
	力 行	努力して行うこと。
五所川原工業高校	—	

(出典：金木高校、鶴田高校は、学校案内による。板柳高校は校訓の意味を定義付けしていないので、大辞林第三版による。)

## (2) 学校標語

学校名	学校標語	意 味
鶴田高校	師弟和熟	教師と生徒がともに学び合い、人間性を高め合うこと。
五所川原工業高校	全校一体一家族	本校に集う者は、生徒も教職員も家族同様であり、思いやりをもって互いに支えあうこと。
	無限の可能	自分が求めさえすれば、求めるものは無限にあり、それを獲得することで自分自身を高めることができる「さらなる成長」を意味する。

(出典：鶴田高校は学校案内、五所川原工業高校は学校ホームページによる。)

## 【校訓等の方向性】

--

## 2 校章の方向性について

### 論 点

校章の方向性として、「新たな校章を制定する」または「統合対象校の既存の校章を引き継ぐ」のどちらが望ましいかという視点で協議する。

なお、新たな校章を制定する場合は、その制定方法についても協議する。

### 【4校の校章の状況】

金木高校	板柳高校	鶴田高校	五所川原工業高校
 <p>制定年：昭和28年 図案者：小山内謙次氏</p>	 <p>制定年：昭和25年 図案者：竹浪謹爾氏</p>	 <p>制定年：昭和49年制定 図案者：池田勇作氏</p>	 <p>制定年：昭和38年制定 図案者：鈴木太左衛門氏</p>
<p>■桜は日本国民と金木の桜を表し、翼は飛躍発展・真理探究への志と六ヶ町村（金木町外五ヶ町村学校組合立）の団結を意味する。</p>	<p>■豊かなリンゴの町板柳にある高校として「林檎樹に囲まれた高校を表したもの」で自然の恵みと人間の努力を表し、この良き環境の中で健やかに育ち、発展されることを念願する意味を込めてデザインされた。</p> <p>■校章の中の曲線はリンゴの枝を、上部中心の星形は未来の躍進と希望を表す北の星（北極星）を模したものである。</p>	<p>■純白の鶴が2羽寄り添って円形を描いているのは男女力を合わせて鶴田高校を盛り上げていく、純白には清廉・潔白・誠実ということ、右にも左にも偏らず、いつまでも力を合わせていくことを願いとして込めている。</p>	<p>■マークは工業を表し、左右の鋭い切り口は学問、技術に対する鋭さを表す。</p> <p>■上下の丸みは円で、人間形成の理想を表す。</p>

### 【校章制定の方法（他県等の事例から）】

- ①公募による制作
- ②デザイナー等への委託による制作
- ③学校関係者（生徒含む）による制作
- ④その他

### 【校章の方向性】

### 3 校歌の方向性について

#### 論 点

校歌の方向性として、「新たな校歌を制定する」または「統合対象校の既存の校歌を引き継ぐ」のどちらか望ましいかという視点で協議する。

なお、新たな校歌を制定する場合は、その制定方法についても協議する。

#### 【4校の校歌の状況】

金木高校	板柳高校	鶴田高校	五所川原工業高校
作詞：横山 武夫 作曲：木村 繁 制定年：昭和43年	作詞：鈴木 文雄 作曲：長谷川良夫 制定年：昭和27年	作詞：山下 正義 作曲：本間 雅夫 制定年：昭和49年	作詞：明本 京静 作曲：明本 京静 制定年：昭和38年
北津軽の原ひろく 起き伏す山並ゆく水よ 日は若き光にみち 胸ふかく希望はぐくむ あゝ我等思想けだかき 建設の道にむすびて 集うなり芦野ヶ原に	若草萌ゆる津軽野や 心を映す瑠璃の色 清瀬を永久の道として 学びの舎の明け暮れを 至誠の訓かしこみつ いのちの炎かきたてん	津軽野の沃野潤す 湖の波打つところ 携ひてわれら集へり 永遠の理想掲ぐる 誠実の群像 鶴田高校	岩木の山はいや高く 十川の水はいや清し 林檎花咲くみちのくに 「無限の可能」求めんと 集いて学ぶ友と我 おお五所川原工業高校
かざせり羽搏く鷹の羽の 虚空はてなき進取のしるし 據るよ伝統の誠実 新らしき時代に貫きたてん あゝ我等岩木の山の 厳しき息吹の子等ぞ はげまばや芦野ヶ原に	七重の雪に照り映ゆる 姿麗し岩木が嶺 その気高きを鏡にて 学びの舎の明け暮れを 文の林にわけ入りつ 理想の炬火うちたてん	天つ日に果実の輝きて 林檎樹の連なるところ 睦み合ひわれら学べり 故郷の未来を拓く 自律の群像 鶴田高校	学問と技術のきびしさを 円満きこころに溶かしつつ 明朗努力誠実もて 日に夜に進む人類の 科学にいどむ友と我 おお五所川原工業高校
	歴史に偲ぶみちのくの 巨き偉徳のかげふみて そよぐ緑の葉のごとく 身も魂も健やけく 三綱領をかしこみつ 学びの道につとめなん	高き嶺の流れに映り 山川の美しきところ 弛み無くわれら励めり 学び舎の和熟の三年 力行の群像 鶴田高校	白皚々の津軽野に 岩木おろしよ吹かば吹け 理想に燃ゆる若人の 意気天を衝く前進に 凱歌もたのし友と我 おお五所川原工業高校

#### 【校歌制定の方法（他県等の事例から）】

- ①公募による制作
- ②作曲家等への委託による制作
- ③学校関係者（生徒含む）による制作
- ④その他

#### 【校歌の方向性】

#### 4 制服の方向性について

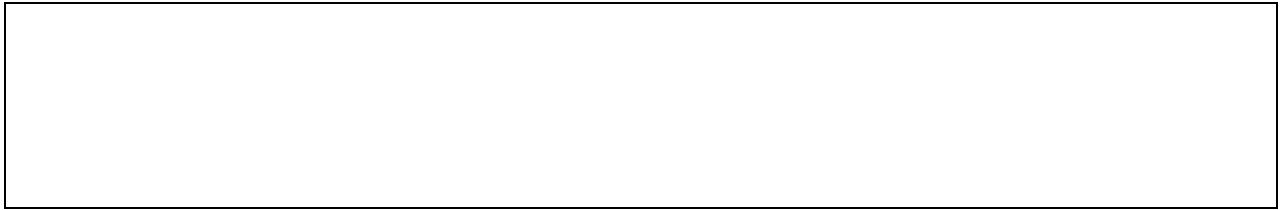
##### 論 点

制服の方向性として、「新たなデザインとする」、「統合対象校のデザインを引き継ぐ」、「制服を制定しない（私服対応）」のどれが望ましいかという視点で協議する。

##### 【4校の制服の状況】

金木高校	板柳高校
<p>■冬服（儀式的行事）</p> 	<p>■冬服</p> 
<p>■冬服（普段）</p> 	
<p>■夏服</p> 	<p>■夏服</p> 

【制服の方向性】



鶴田高校	五所川原工業高校
<p>■ 冬服</p> 	<p>■ 冬服</p> 
<p>■ 夏服（儀式的行事）</p> 	<p>■ 夏服（儀式的行事）</p> 
<p>■ 夏服（普段）※女子はベスト着用あり</p> 	<p>■ 夏服（普段）</p> 